

B-10 家庭洗たくにおける除菌効果
東京家政学院大 吉永フミ ○藤居真理子

目的 家庭洗たくの各過程における除菌・殺菌効果を検討する目的で、1) 衣類に付着する一般細菌が家庭洗たくによってどのように除菌・殺菌されるかを知る。2) 大腸菌、黄色ブドウ球菌を使用して細菌汚染布を作製し、実験室的にモデル洗淨、乾燥を行ない、その除菌・殺菌効果を検討する。

方法 1) について…洗たく条件；二槽式洗たく機，都市水道水，市販洗剤を表示濃度，浴比1:22，一般家庭における日常の木綿被洗物を脱水を加えた一定のプログラムに従って洗たく。菌検出法；布残存分はリブリカ法，廃液中の生菌数は10倍階段稀釈法による平板塗抹法で培養し測定する。2) について…供試菌；大腸菌，黄色ブドウ球菌を各々複数株使用。試布；金巾2003。培地；EMB培地，マンニット食塩培地。洗淨条件；市販洗剤を表示濃度，浴比1:30，洗淨7分・すすぎ3分2回，常温。乾燥条件；自動記録計付電子式天秤を用い重量法によって乾燥終点を求めた。菌検出法；細菌汚染布を生食水を用い振とう，10倍階段稀釈法による平板塗抹法により生菌数を測定する。

結果 1) について…家庭洗たくにおける一般細菌の除菌・殺菌率は，おおむね99.0～99.9%であると言える。2) について…大腸菌は乾燥による殺菌効果が著しい。また黄色ブドウ球菌は洗剤洗淨による除菌効果が著しい。